

## 第5章 介護保険施設サービス利用者調査

### 1 基本属性

#### (1) 調査票の記入者 (F 1)

調査票の記入者は、「あて名ご本人」が3.0%、「配偶者(夫または妻)」が16.5%、「娘・息子」が56.7%、「娘・息子の配偶者」8.5%、「兄弟・姉妹」が3.0%、「その他親族」が2.4%、「施設職員」が6.1%となっている。(図表5-1-1)

図表5-1-1 調査票の記入者(全体)



#### (2) 性別 (F 2)

性別は、「男性」が34.8%、「女性」が64.6%となっている。(図表5-1-2)

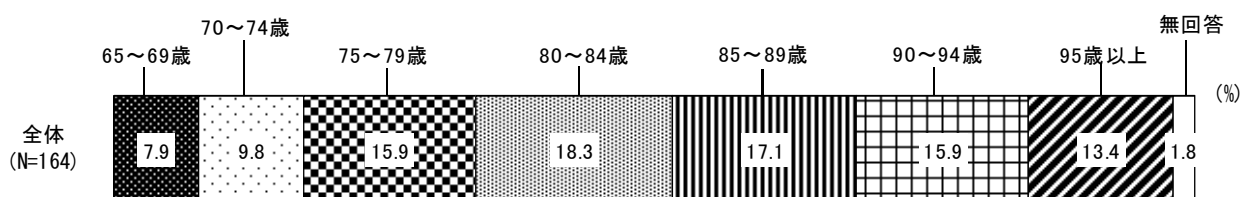
図表5-1-2 性別(全体)



#### (3) 年齢 (F 3)

年齢は、「65~69歳」が7.9%、「70~74歳」が9.8%、「75~79歳」が15.9%、「80~84歳」が18.3%、「85~89歳」が17.1%、「90~94歳」が15.9%、「95歳以上」が13.4%となっている。(図表5-1-3)

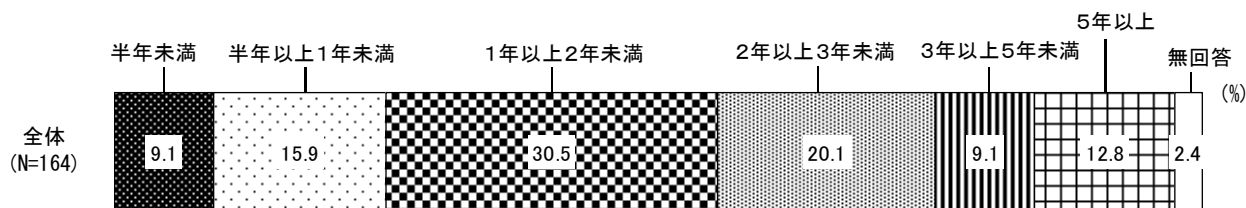
図表5-1-3 年齢(全体)



(4) 施設入所期間 (F 4)

施設入所期間は、「半年未満」9.1%、「半年以上1年未満」15.9%、「1年以上2年未満」30.5%、「2年以上3年未満」20.1%、「3年以上5年未満」9.1%、「5年以上」12.8%となっている。(図表5-1-4)

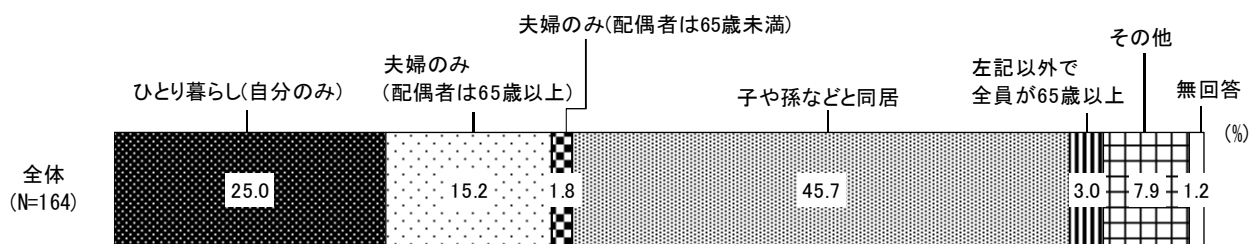
図表5-1-4 施設入所期間 (全体)



(5) 入所前の世帯状況 (F 5)

入所前の世帯状況は、「子や孫など同居 (45.7%)」が最も多く、「ひとり暮らし (自分のみ) (25.0%)」、「夫婦のみ (配偶者は65歳以上) (15.2%)」、「夫婦のみ (配偶者は65歳未満) (1.8%)」が続いている。(図表5-1-5)

図表5-1-5 入所前の世帯状況 (全体)



## 2 本人の状況について

### (1) 入所している施設

入所施設の種類は、「特別養護老人ホーム(53.7%)」が最も多く、「老人保健施設(24.4%)」、「介護療養型医療施設(17.7%)」が続いている。[前回:「特別養護老人ホーム」39.4%、「老人保健施設」24.4%、「介護療養型医療施設」17.0%]

要介護度別にみると、要介護度4で「特別養護老人ホーム」が6割強を占めている。また、要介護度5では、「介護療養型医療施設」と3分の1強を占めて高くなっている。

認知症診断の有無別にみると、有無ではほぼ同傾向となっているが、認知症無で若干「老人保健施設」が多くなっている。(図表5-2-1)

図表5-2-1 入所している施設(全体・要介護度別・認知症診断の有無別)

		(%)			
		特別養護老人ホーム	老人保健施設	介護療養型医療施設	無回答
全体(N= 164)		53.7	24.4	17.7	4.3
要介護度別	要介護1・2(n= 23)	52.2	30.4	8.7	8.7
	要介護3(n= 34)	50.0	35.3	8.8	5.9
	要介護4(n= 49)	63.3	26.5	6.1	4.1
	要介護5(n= 54)	50.0	11.1	37.0	1.9
	わからない(n= 2)	50.0	50.0	0.0	0.0
認知症診断の有無別	有(n= 94)	52.1	23.4	20.2	4.3
	無(n= 53)	49.1	30.2	15.1	5.7

(2) かかったことのある病気 (問1)

施設入所者のかかったことのある病気は、「認知症 (50.6%)」が最も多く、「高血圧症 (36.6%)」、「脳卒中 (脳梗塞、脳出血など) (29.3%)」、「骨折・骨粗しょう症 (27.4%)」、「目の病気 (25.0%)」が続いている。〔前回：ほぼ同傾向であるが、「認知症」以外は3～8ポイント高い〕

要介護度別にみると、要介護度5で「認知症」と「脳卒中 (脳梗塞、脳出血など)」が多く、要介護度4で「骨折・骨粗しょう症」が多くなっている。

施設の種類の別に見ると、特別養護老人ホームでは総じて高いが、老人保健施設で「心臓病 (心筋梗塞、狭心症など)」が他の施設に比べ若干高くなっている。

認知症診断の有無別にみると、「認知症」以外の項目では、総じて認知症診断無の方が高率になっている。(図表5-2-2)

図表5-2-2 入所者のかかったことのある病気  
(全体・要介護度別・施設の種類の別・認知症診断の有無別：複数回答)

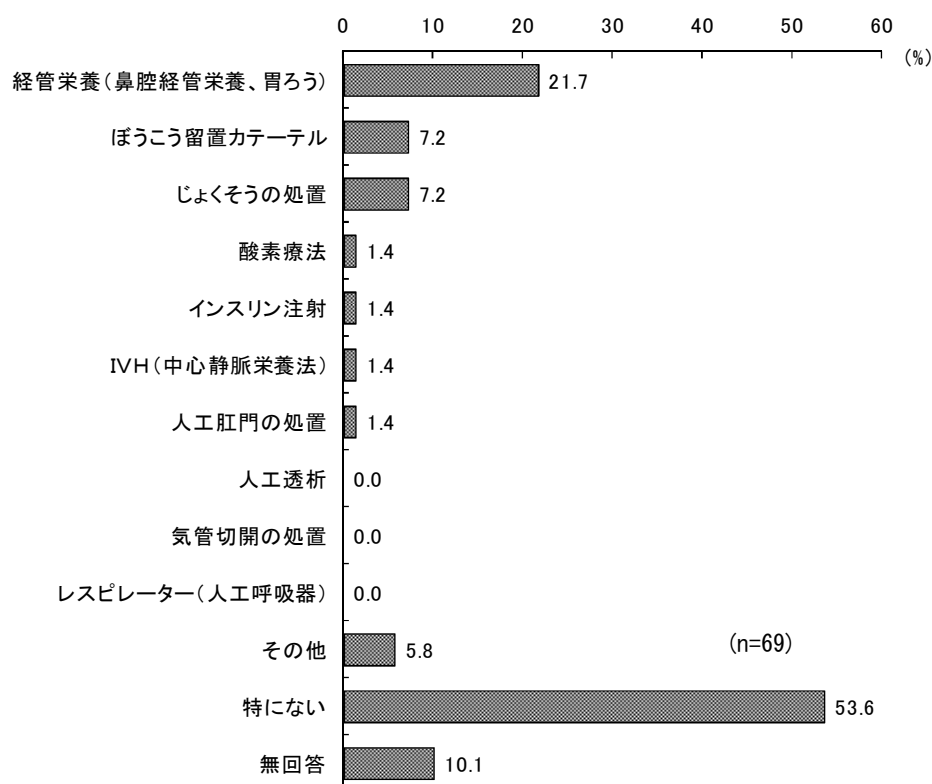
		認知症	高血圧症	脳卒中 (脳梗塞、脳出血など)	骨折・骨粗しょう症	目の病気	心臓病 (心筋梗塞、狭心症など)	慢性関節炎などの関節疾患	糖尿病	高コレステロール血症 (高脂血症)	歯の病気	うつ病などの精神疾患	がん (悪性新生物)	耳・鼻の病気	その他	無回答
全	体 (N= 164)	50.6	36.6	29.3	27.4	25.0	15.9	13.4	12.8	11.6	11.6	7.9	6.7	6.1	11.6	4.9
要介護度別	要介護1・2 (n= 23)	47.8	26.1	13.0	34.8	39.1	30.4	13.0	17.4	13.0	4.3	26.1	8.7	4.3	13.0	8.7
	要介護3 (n= 34)	47.1	41.2	14.7	14.7	14.7	26.5	14.7	8.8	11.8	11.8	8.8	8.8	8.8	5.9	5.9
	要介護4 (n= 49)	46.9	34.7	34.7	40.8	22.4	12.2	20.4	16.3	8.2	18.4	6.1	8.2	6.1	8.2	4.1
	要介護5 (n= 54)	59.3	38.9	40.7	20.4	29.6	7.4	5.6	9.3	13.0	9.3	1.9	3.7	5.6	16.7	3.7
	わからない (n= 2)	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
施設種類の別	特別養護老人ホーム (n= 88)	54.5	36.4	25.0	33.0	29.5	14.8	18.2	11.4	13.6	9.1	9.1	8.0	10.2	8.0	6.8
	老人保健施設 (n= 40)	42.5	27.5	35.0	20.0	22.5	22.5	10.0	17.5	0.0	17.5	5.0	5.0	2.5	15.0	2.5
	介護療養型医療施設 (n= 29)	51.7	51.7	37.9	24.1	20.7	13.8	6.9	13.8	17.2	6.9	6.9	6.9	0.0	17.2	0.0
有無診断別の症	有 (n= 94)	75.5	33.0	17.0	25.5	22.3	13.8	10.6	12.8	10.6	11.7	5.3	6.4	4.3	10.6	5.3
	無 (n= 53)	3.8	39.6	45.3	35.8	24.5	20.8	18.9	15.1	13.2	11.3	11.3	7.5	7.5	13.2	3.8

## (3) 現在受けている医療処置（問2）

## ※老人保健施設と介護療養型施設に入所している方

現在受けている医療処置は、「経管栄養（鼻腔経管栄養、胃ろう）（21.7%）」が最も多く、「ぼうこう留置カテーテル（7.2%）」、「じょくそうの処置（7.2%）」が続いている。また、「特にない（53.6%）」が過半数を占めている。〔前回：「経管栄養（鼻腔経管栄養、胃ろう）」16.9%、「じょくそうの処置」7.9%、「特にない」は42.7%〕（図表5-2-3）

図表5-2-3 現在受けている医療処置（全体：複数回答）



### 3 施設入所前までのことについて

#### (1) 入所までの期間（問3）

施設に入所するまでの期間は、「6か月未満（40.9%）」が最も多く、以下「6か月以上1年未満（15.2%）」、「1年以上2年未満（13.4%）」となっている。

要介護度別にみると、要介護度5で「2年以上3年未満」と「5年以上」が若干高くなっている。

施設の種類別にみると、特別養護老人ホームで「6か月未満」を除く長い期間の割合が他の施設に比べ高くなっている。老人保健施設、介護療養型医療施設では「6か月未満」が特に高く、老人保健施設では82.5%となっている。

認知症診断の有無別にみると、認知症診断無では「6か月未満」と「3年以上5年未満」が認知症診断有より若干、高率になっている。（図表5-3-1）

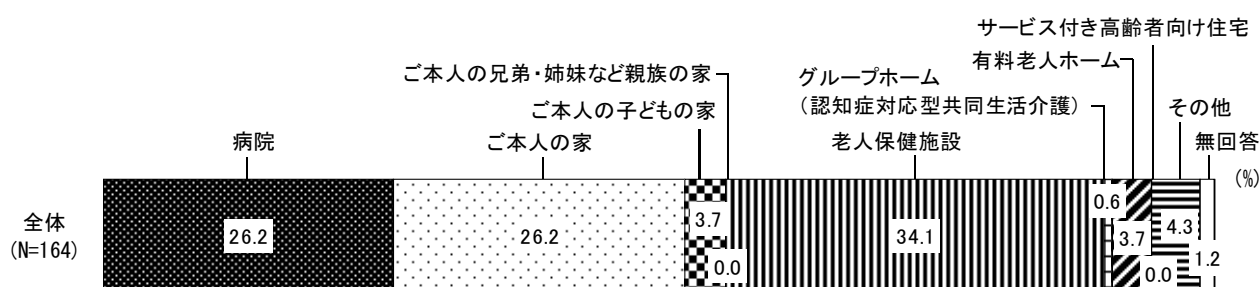
図表5-3-1 入所までの期間  
（全体・要介護度別・施設の種類別・認知症診断の有無別）

		6 か 月 未 満	1 6 か 月 未 満 以 上	2 1 年 未 満 以 上	3 2 年 未 満 以 上	5 3 年 未 満 以 上	5 年 以 上	そ の 他	無 回 答
全 体 (N= 164)		40.9	15.2	13.4	7.9	6.7	8.5	3.7	3.7
要 介 護 度 別	要 介 護 1・2 (n= 23)	39.1	17.4	8.7	8.7	8.7	4.3	4.3	8.7
	要 介 護 3 (n= 34)	41.2	23.5	11.8	2.9	2.9	11.8	5.9	0.0
	要 介 護 4 (n= 49)	44.9	10.2	22.4	6.1	8.2	4.1	2.0	2.0
	要 介 護 5 (n= 54)	37.0	14.8	9.3	11.1	7.4	13.0	3.7	3.7
	わ か ら な い (n= 2)	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
種 施 類 設 別 の	特別養護老人ホーム (n= 88)	14.8	21.6	22.7	12.5	11.4	13.6	2.3	1.1
	老 人 保 健 施 設 (n= 40)	82.5	7.5	2.5	0.0	0.0	0.0	5.0	2.5
	介 護 療 養 型 医 療 施 設 (n= 29)	69.0	3.4	3.4	6.9	0.0	6.9	3.4	6.9
有 診 認 無 断 知 別 の 症	有 (n= 94)	40.4	18.1	13.8	11.7	3.2	6.4	4.3	2.1
	無 (n= 53)	47.2	13.2	11.3	3.8	11.3	5.7	3.8	3.8

## (2) 入所前の住まい・施設 (問4)

入所する前の住まい・施設は、「老人保健施設 (34.1%)」が最も多く、「病院 (26.2%)」、「ご本人の家 (26.2%)」が続いている。(図表5-3-2)

図表5-3-2 入所前の住まい・施設 (全体)

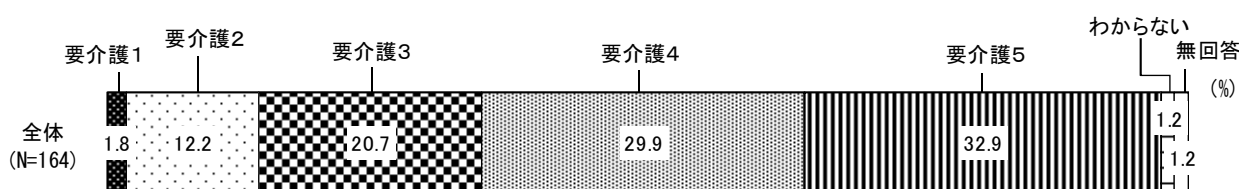


## 4 介護保険について

### (1) 要介護度 (問5)

入所者ご本人の要介護度は、「要介護5 (32.9%)」が最も多く、「要介護4 (29.9%)」、「要介護3 (20.7%)」が続いている。[前回:「要介護5」35.4%、「要介護4」30.5%、「要介護3」15.9%] (図表5-4-1)

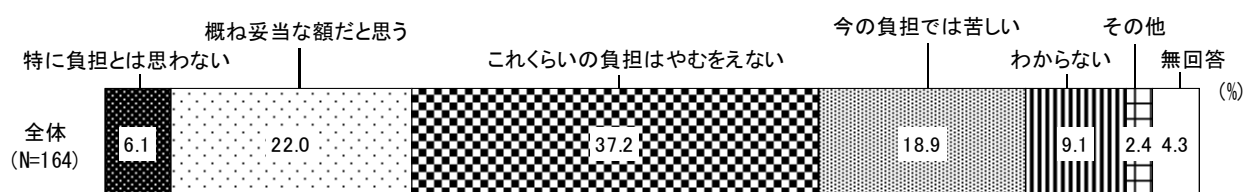
図表5-4-1 要介護度 (全体)



### (2) 利用料の負担について (問6)

利用料の負担については、「これくらいの負担はやむをえない (37.2%)」が最も多く、「概ね妥当な額だと思う (22.0%)」、「今の負担では苦しい (18.9%)」が続いている。[前回:「これくらいの負担はやむをえない」34.8%、「概ね妥当な額だと思う」27.4%、「今の負担では苦しい」18.9%] (図表5-4-2)

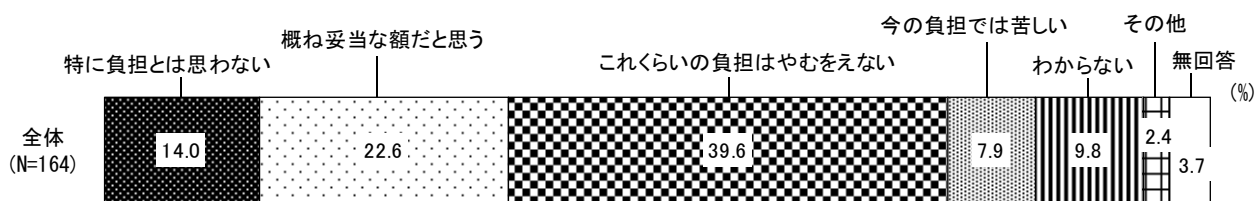
図表5-4-2 利用料の負担について (全体)



(3) 日常生活費の負担について (問7)

日常生活費の負担については、「これくらいの負担はやむをえない (39.6%)」が最も多く、「概ね妥当な額だと思う (22.6%)」、「特に負担とは思わない (14.0%)」が続いている。〔前回:「これくらいの負担はやむをえない」36.6%、「概ね妥当な額だと思う」26.8%、「特に負担とは思わない」18.3%〕 (図表5-4-3)

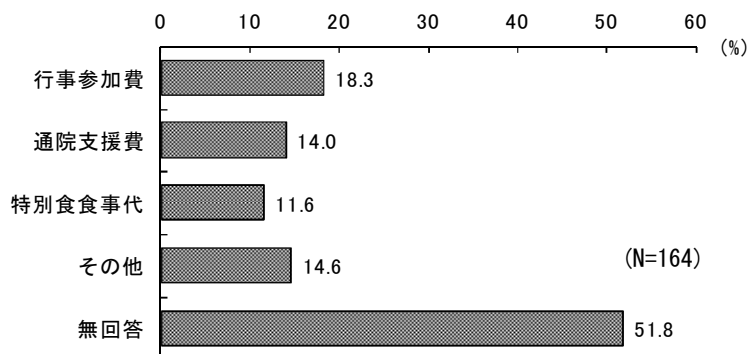
図表5-4-3 日常生活費の負担について (全体)



(4) 日常生活費・居住費・食費以外の費用の負担 (問8)

日常生活費・居住費・食費以外の費用の負担は、「行事参加費 (18.3%)」が最も多く、「その他 (14.6%)」、「通院支援費 (14.0%)」が続いている。 (図表5-4-4)

図表5-4-4 日常生活費・居住費・食費以外の費用の負担 (全体: 複数回答)

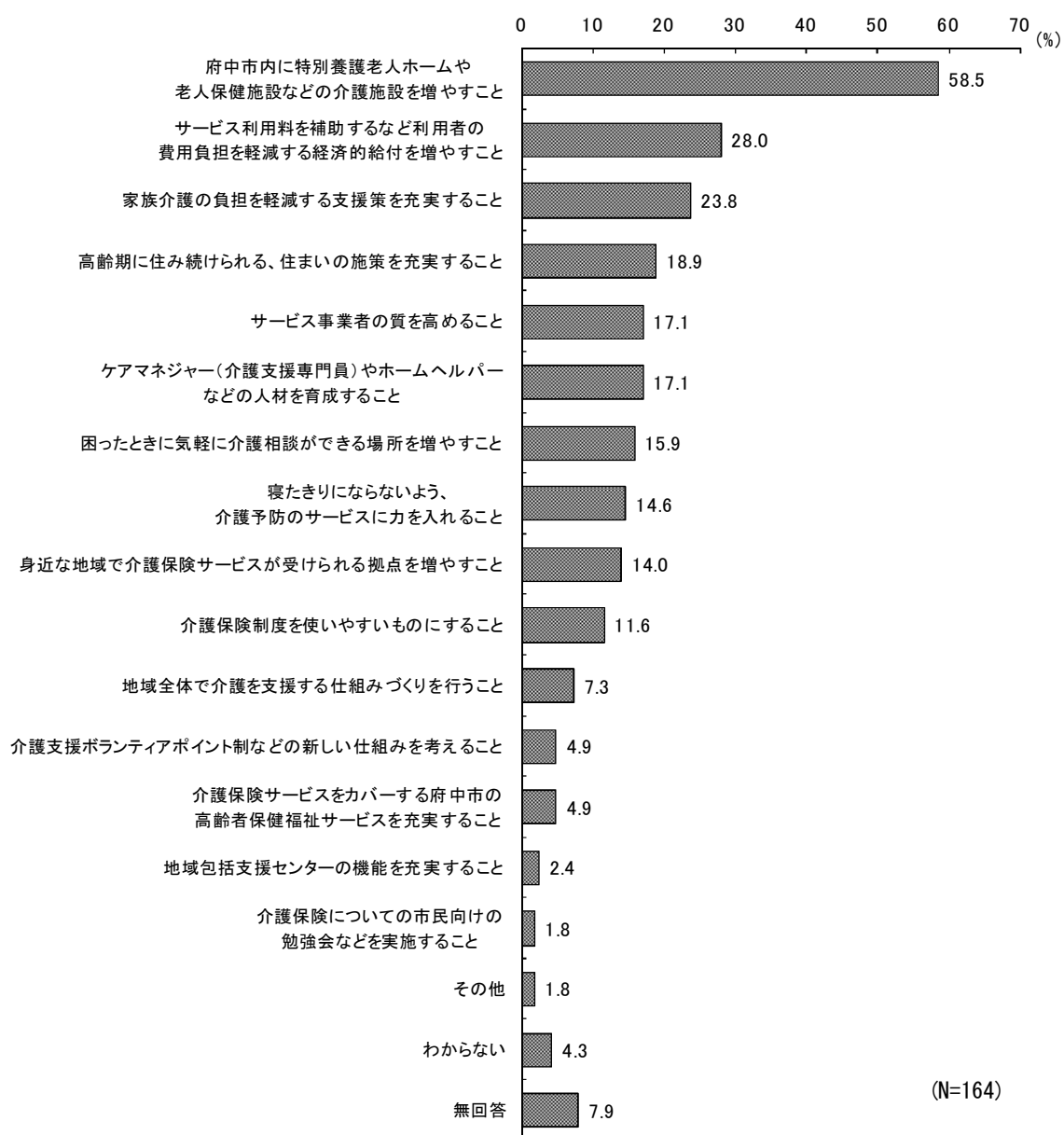




(5) 介護保険制度をよりよくするため府中市が力を入れるべきこと (問9)

介護保険制度をよりよくするため府中市が力を入れるべきことは、「府中市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと (58.5%)」が最も多く、「サービス利用料を補助するなど利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと (28.0%)」、「家族介護の負担を軽減する支援策を充実すること (23.8%)」が続いている。(図表5-4-5)

図表5-4-5 介護保険制度をよりよくするため府中市が力を入れるべきこと  
(全体：複数回答：(3つまで))

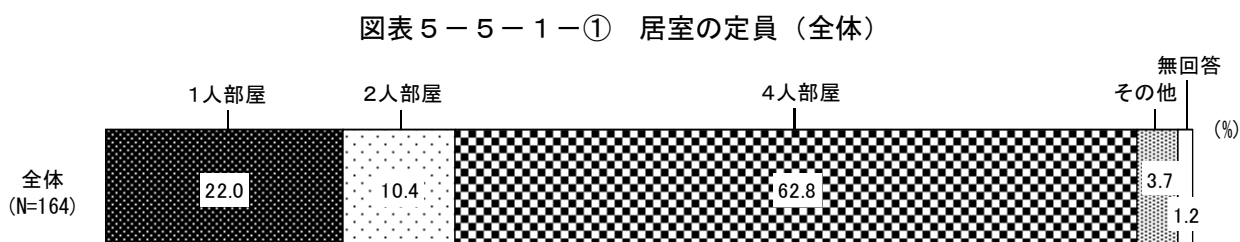


## 5 施設での生活やサービスについて

### (1) 居室の定員

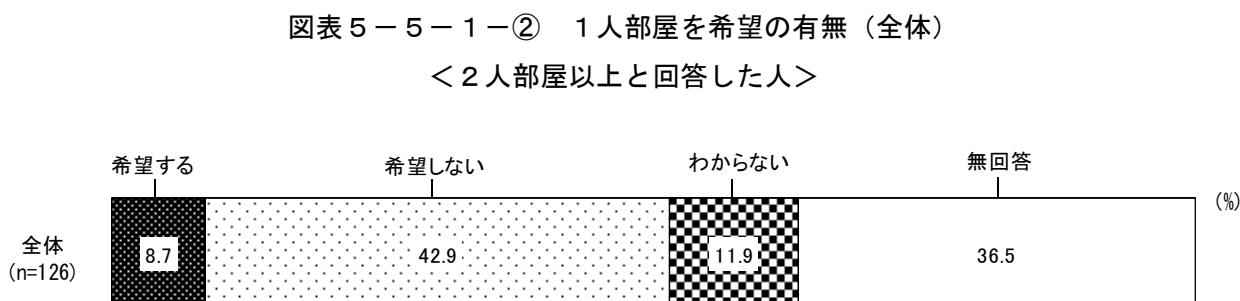
#### ①居室の定員 (問 10)

居室の定員は、「4人部屋 (62.8%)」が最も多く、「1人部屋」(22.0%)、「2人部屋 (10.4%)」が続いている。[前回:「4人部屋」67.7%、「2人部屋」18.5%、「1人部屋」10.8%] (図表5-5-1-①)



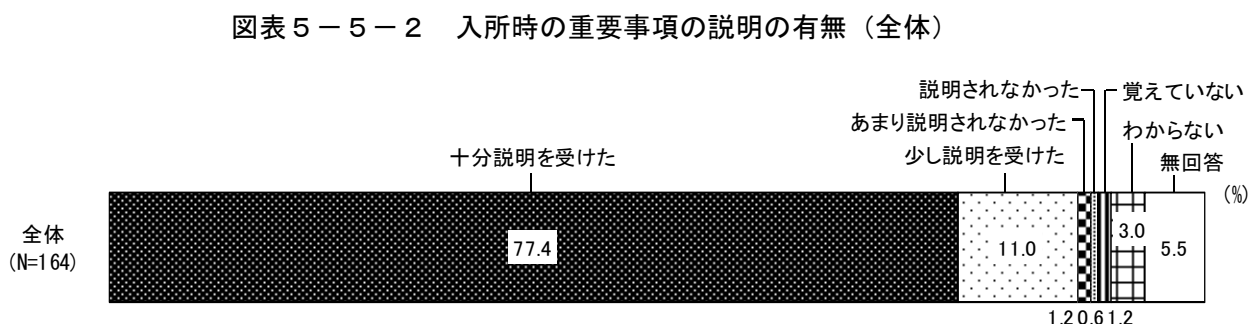
#### ②1人部屋希望の有無 (問 10-1)

問 10 で2人部屋以上と答えた人にたずねた1人部屋希望の有無は、「希望しない」は42.9%である。「わからない」は11.9%となっている。(図表5-5-1-②)



### (2) 入所時の重要事項の説明の有無 (問 11)

入所時の重要事項の説明の有無は、「十分説明を受けた」が77.4%となっている。「少し説明を受けた」は11.0%となっている。[前回:ほぼ同傾向] (図表5-5-2)



### (3) 生活するために必要なサービスについての説明の有無 (問 12)

生活するために必要なサービスについての説明の有無は、「十分説明を受けた」は 70.1% である。「少し説明を受けた」は 14.6% になっている。〔前回：ほぼ同傾向〕(図表 5-5-3)

図表 5-5-3 生活するために必要なサービスについての説明の有無 (全体)



### (4) ケアマネジャーからのサービスの提案の有無 (問 13)

ケアマネジャーからのサービスの提案の有無は、「たびたび提案がある」が 53.0%、「1、2度あった」は 22.6%、「提案はない」は 9.8% となっている。〔前回：「たびたび提案がある」67.7%、「提案はない」3.0%〕(図表 5-5-4)

図表 5-5-4 ケアマネジャーからのサービスの提案の有無 (全体)



### (5) 施設でのサービスは役に立っているか (問 14)

施設サービスが役に立っているかたずねたところ、「役に立っている」と答えた人は 77.4% と 8 割近くを占めている。「あまり役に立っていない」は 9.8%、「役に立っていない」は 1.8% とわずかである。〔前回：ほぼ同傾向〕(図表 5-5-5)

図表 5-5-5 施設でのサービスは役に立っているか (全体)



(6) 本人の気持ち等尊重されているか (問 15)

本人の気持ち等尊重されているかは、「思う」は49.4%で半数を占めている。「少し思う」は31.1%、「わからない」は11.6%となっている。(図表5-5-6)

図表5-5-6 本人の気持ち等尊重されているか (全体)



(7) サービスの満足度 (問 16)

サービスについて、「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「健康管理、栄養上の管理」は51.8%、「食事」「入浴」「相談・助言」の3項目で49.4%である。[前回より「医療の実施」、「相談・助言」などで満足度がやや高くなった] (図表5-5-7)

図表5-5-7 サービスの満足度 (全体)

<今回>			<前回>	
No.	n=81	%	n=164	%
1	食事	49.4	食事	48.8
2	入浴	49.4	入浴	45.7
3	トイレ・排泄	46.3	トイレ・排泄	44.5
4	機能訓練	34.8	機能訓練	29.9
5	必要な医療の実施	45.8	必要な医療の実施	39.0
6	健康管理、栄養上の管理	51.8	健康管理、栄養上の管理	47.0
7	相談・助言	49.4	相談・助言	40.9
8	入居者との交流や家族との交流	45.2		
9	日課・レクリエーション	38.4		
10	外出	28.1		

(8) プライバシーへの配慮の有無 (問 17)

プライバシーへの配慮の有無は、「配慮されている」が46.3%となっている。「少し配慮されている」は31.1%、「配慮されていない」は4.9%となっている。[前回：ほぼ同傾向] (図表5-5-8)

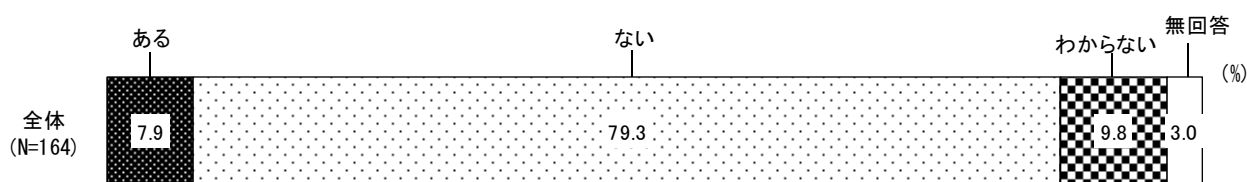
図表5-5-8 プライバシーへの配慮の有無 (全体)



### (9) 説明なしに行う動作制限の有無 (問 18)

説明なしに行う動作制限の有無は、「ない」が 79.3%と約8割を占めている。「ある」は 7.9%、「わからない」は 9.8%となっている。〔前回：「ない」59.8%、「ある」22.6%、「わからない」14.0%〕 (図表 5-5-9)

図表 5-5-9 説明なしに行う動作制限の有無 (全体)

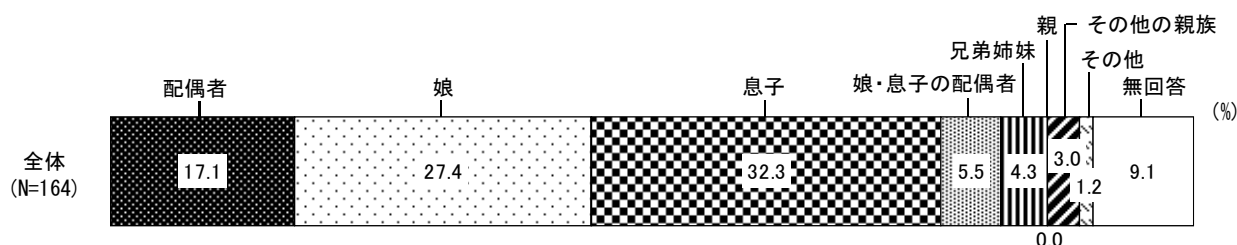


## 6 家族の状況や意向について

### (1) 主たる連絡先 (問 19)

主たる連絡先は、「息子 (32.3%)」が最も多く、「娘 (27.4%)」、「配偶者 (17.1%)」が続いている。〔前回：「息子」39.6%、「娘」22.0%、「配偶者」22.0%〕 (図表 5-6-1)

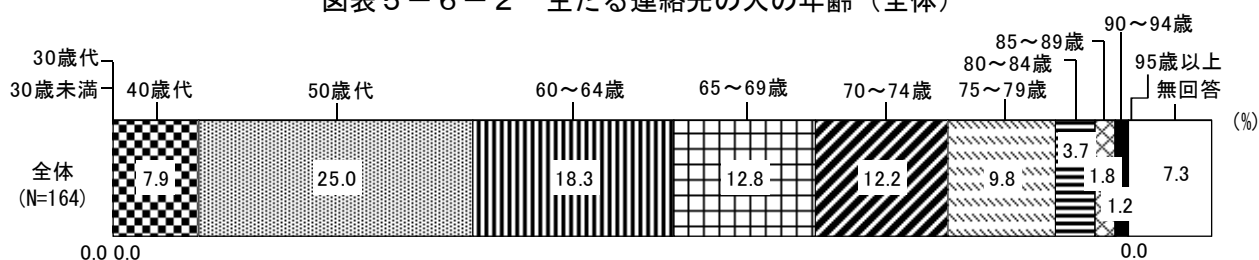
図表 5-6-1 主たる連絡先 (全体)



### (2) 主たる連絡先の人年齢 (問 20)

主たる連絡先の人年齢は、「50歳代 (25.0%)」が最も多く、「60~64歳 (18.3%)」、「65~69歳 (12.8%)」が続いている。〔前回：ほぼ同傾向〕 (図表 5-6-2)

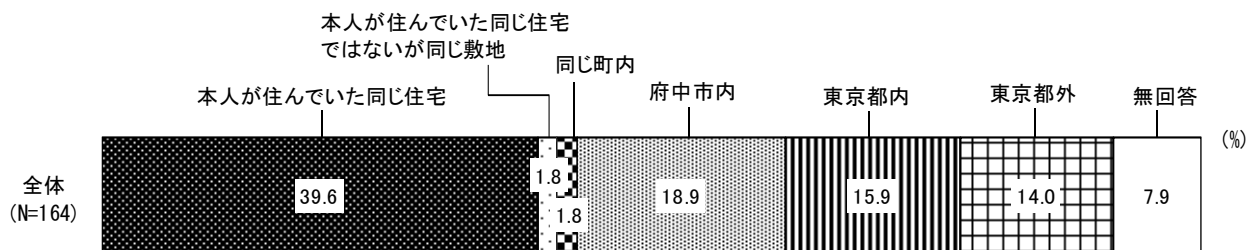
図表 5-6-2 主たる連絡先の人年齢 (全体)



### (3) 主たる連絡先の人の居住地 (問 21)

主たる連絡先の人の居住地は、「本人が住んでいた同じ住宅 (39.6%)」が最も多く、「府中市内 (18.9%)」、「東京都内 (15.9%)」が続いている。〔前回:「府中市内」26.8%、「東京都内」17.1%〕 (図表 5-6-3)

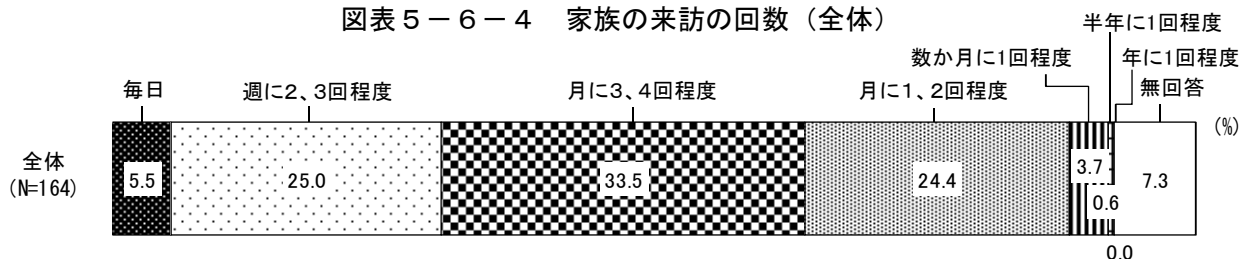
図表 5-6-3 主たる連絡先の人の居住地 (全体)



### (4) 家族の来訪の回数 (問 22)

家族の来訪の回数は、「月に3、4回程度 (33.5%)」が最も多く、「週に2、3回程度 (25.0%)」、「月に1、2回程度 (24.4%)」が続いている。〔前回:「月に3、4回程度 (50.6%)」、「月に1、2回程度 (26.2%)」〕 (図表 5-6-4)

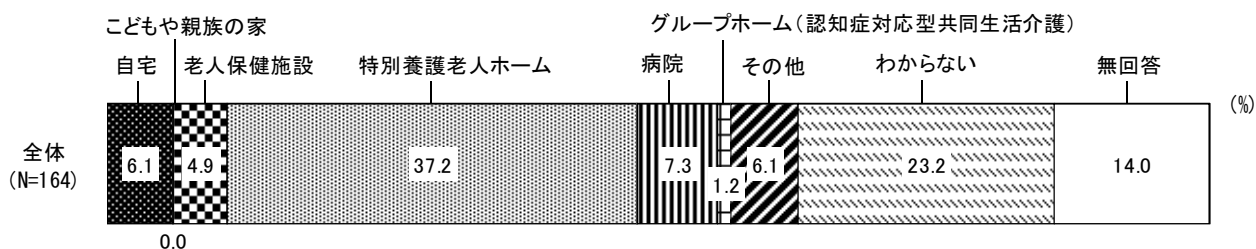
図表 5-6-4 家族の来訪の回数 (全体)



### (5) 退所する場合の次に移る所 (問 23)

退所する場合の次に移る所は、「特別養護老人ホーム (37.2%)」が最も多く、「わからない (23.2%)」、「病院 (7.3%)」が続いている。 (図表 5-6-5)

図表 5-6-5 退所する場合の次に移る所 (全体)



(6) 認知症の診断の有無 (問 25)

認知症の診断の有無は、「ある」は57.3%、「ない」は32.3%となっている。[前回:「ある」53.0%、「ない」42.1%] (図表5-6-6)

図表5-6-6 認知症の診断の有無 (全体)



(7) 認知症の日常生活自立度 (問 25-1)

認知症診断があると答えた人にたずねた、認知症の日常生活自立度は、「IV (日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護が必要) (38.3%)」が最も多く、「I (物忘れをすることもあるが、日常生活は施設内及び社会的にほぼ自立している) (17.0%)」、「IIb ((施設内) 服薬管理ができない、電話の応対や訪問者との応対など一人で留守番ができないなどの状態がみられる) (11.7%)」が続いている。(図表5-6-7)

図表5-6-7 認知症の日常生活自立度 (全体)

<認知症診断ありと回答した人> n=

状態		割合		
物忘れをすることもあるが、日常生活は施設内及び社会的にほぼ自立している		I 17.0%		
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	・(施設外)たびたび道に迷うとか、買い物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つなどの状態がみられる	II a 5.3%		
	・(施設内)服薬管理ができない、電話の応対や訪問者との応対など一人で留守番ができないなどの状態がみられる	II b 11.7%		
日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護が必要とされる	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない・時間がかかる	・日中を中心として	III a 8.5%	
		・夜間を中心として	III b 3.2%	
	やたらに物を口に入れる、徘徊、失禁、大声、火の不始末、不潔な行為、性的行動などの症状が見られる	・日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする		IV 38.3%
		・著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする (妄想、興奮、自傷、他害などの精神症状に起因する問題行動が継続する状態など)		M 4.3%
無回答		11.7%		

(8) 今後の生活場所 (問 26)

①入所者が希望する今後の生活場所

入所者本人が希望する今後の生活場所は、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所する (48.2%)」が最も多く、以下は10%に満たない。

要介護度別にみると、各要介護度ともに「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所する」が多くなっている。

施設別にみると、各施設ともに「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所する」が高いが、老人保健施設で「家族などの介護を受けながら自宅で生活する」が若干高くなっている。

認知症診断の有無別にみても、認知症診断有・無ともに「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所する」が高いが、認知症診断無で「家族などの介護を受けながら自宅で生活する」が若干高くなっている。(図表5-6-8-①)

図表5-6-8-① 入所者が希望する今後の生活場所  
(全体・要介護度別・施設の種別・認知症診断の有無別)

		家族などの介護を受けながら自宅で生活する	介護保険居宅サービスを受けながら自宅で生活する	特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所する	有料老人ホームに入居する	グループホーム(認知症対応型共同生活介護)に入居する	見守りや生活支援サービスなどの高齢者向け住宅(サードセクター)に入居する	小さな施設(小規模多機能型居宅介護)などを活用しながら生活する	自宅近くで様々なサービスが受けられる	その他	わからない	無回答
全 体 (N= 164)		7.3	5.5	48.2	1.2	0.0	0.0	1.2	4.9	12.2	19.5	
要介護度別	要介護 1・2 (n= 23)	17.1	4.3	52.2	4.3	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	要介護 3 (n= 34)	5.9	14.7	55.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	17.6	
	要介護 4 (n= 49)	6.1	6.1	42.9	0.0	0.0	0.0	4.1	8.2	12.2	20.4	
	要介護 5 (n= 54)	5.6	0.0	48.1	1.9	0.0	0.0	0.0	7.4	16.7	20.4	
	わからない (n= 2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
施設別の種類	特別養護老人ホーム (n= 88)	4.5	1.1	55.7	0.0	0.0	0.0	1.1	5.7	5.7	26.1	
	老人保健施設 (n= 40)	15.0	12.5	45.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	12.5	
	介護療養型医療施設 (n= 29)	6.9	6.9	37.9	3.4	0.0	0.0	3.4	3.4	27.6	10.3	
認知症診断の有無別	有 (n= 94)	4.3	5.3	45.7	2.1	0.0	0.0	2.1	7.4	13.8	19.1	
	無 (n= 53)	13.2	7.5	56.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.2	9.4	



②家族介護者が希望する今後の生活場所

家族介護者が希望する今後の生活場所は、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所する（64.0%）」が最も多く、以下は10%に満たない。

要介護度別にみると、各要介護度ともに「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所する」が多くなっている。

施設の種別別にみると、各施設ともに「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所する」が多くなっている。

認知症診断の有無別にみても、認知症診断有・無ともに「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所する」が多くなっている。（図表5-6-8-②）

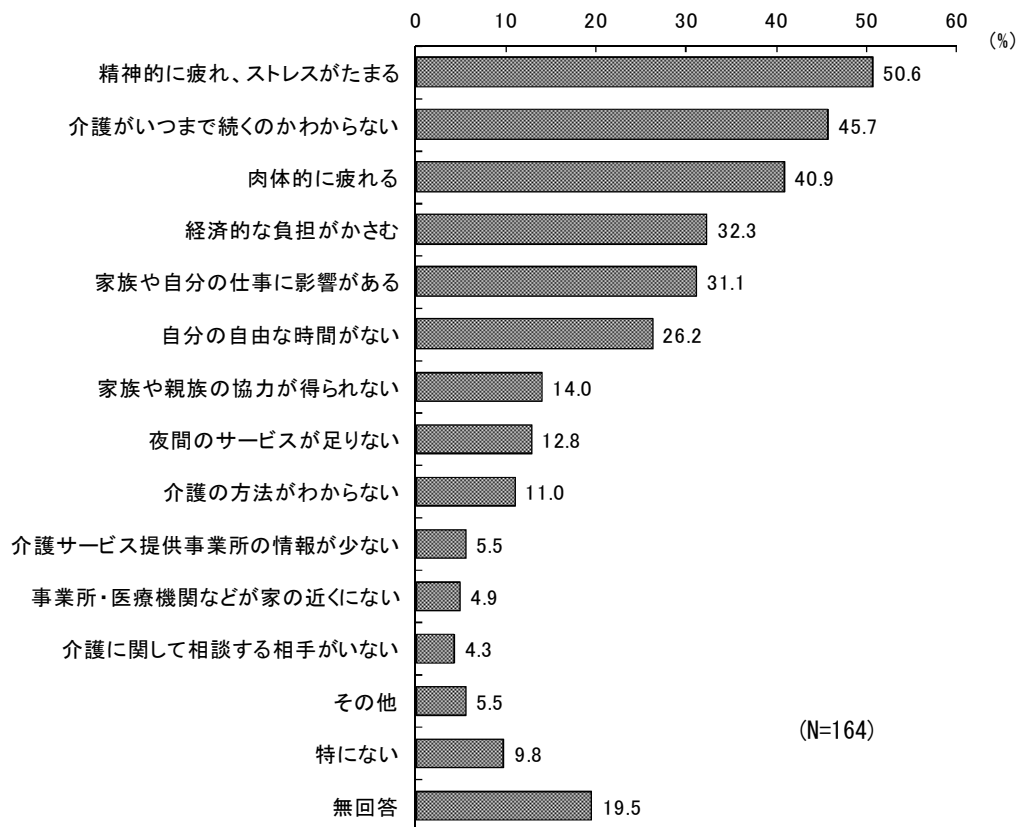
図表5-6-8-② 家族介護者が希望する今後の生活場所  
（全体・要介護度別・施設の種別・認知症診断の有無別）

		家族などの介護を受けながら自宅で生活する	介護保険居宅サービスを受けながら自宅で生活する	特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所する	有料老人ホームに入居する	グループホーム（認知症対応型共同生活介護）に入居する	見守りや生活支援サービスなどのついで高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅）に入居する	小さな施設（小規模多機能型居宅介護）などを利用しながら生活する	自宅近くで様々なサービスが受けられる	その他	わからない	無回答
全	体 (N= 164)	0.6	3.0	64.0	1.8	0.0	0.0	1.2	6.1	4.3	18.9	
要介護度別	要介護1・2 (n= 23)	0.0	0.0	73.9	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	13.0	
	要介護3 (n= 34)	0.0	8.8	70.6	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	14.7	
	要介護4 (n= 49)	2.0	0.0	59.2	0.0	0.0	0.0	4.1	6.1	6.1	22.4	
	要介護5 (n= 54)	0.0	3.7	61.1	1.9	0.0	0.0	0.0	13.0	1.9	18.5	
	わからない (n= 2)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
施設の種類別	特別養護老人ホーム (n= 88)	1.1	1.1	64.8	0.0	0.0	0.0	1.1	6.8	0.0	25.0	
	老人保健施設 (n= 40)	0.0	5.0	77.5	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	10.0	
	介護療養型医療施設 (n= 29)	0.0	3.4	55.2	3.4	0.0	0.0	3.4	13.8	10.3	10.3	
認知症の有無別	有 (n= 94)	0.0	2.1	64.9	3.2	0.0	0.0	2.1	8.5	4.3	14.9	
	無 (n= 53)	1.9	5.7	69.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	5.7	13.2	

(9) 介護をしていくうえでの問題点 (問 27)

介護をしていくうえでの問題点は、「精神的に疲れ、ストレスがたまる (50.6%)」が最も多く、「介護がいつまで続くのかわからない (45.7%)」、「肉体的に疲れる (40.9%)」が続いている。(図表5-6-9)

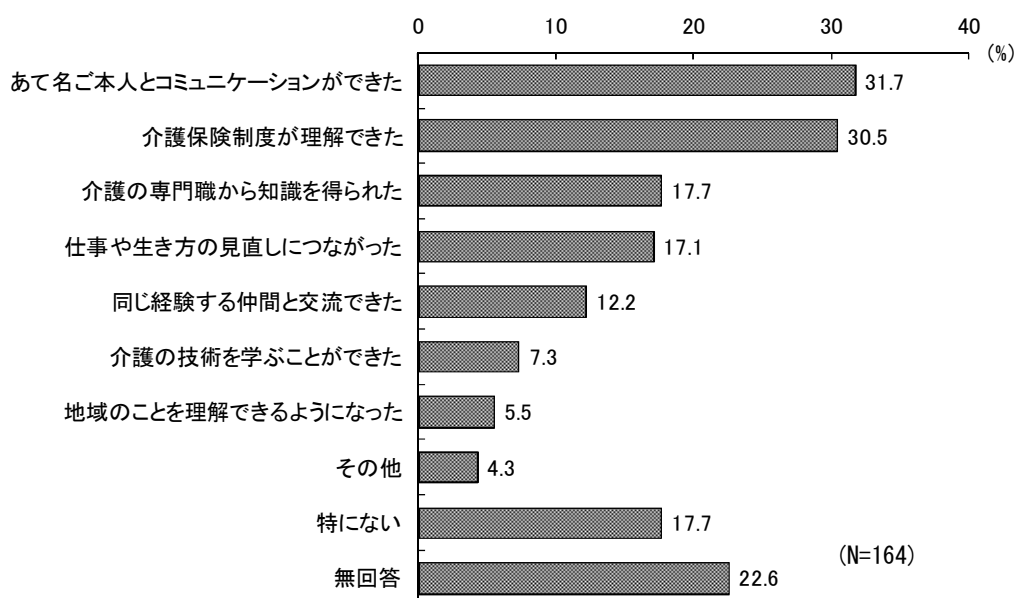
図表5-6-9 介護をしていくうえでの問題点 (全体：複数回答)



(10) 介護をされていて良かったこと（問 28）

介護をされていて良かったことは、「あて名ご本人とコミュニケーションができた(31.7%)」が最も多く、「介護保険制度が理解できた(30.5%)」、「介護の専門職から知識を得られた(17.7%)」、「仕事や生き方の見直しにつながった(17.1%)」が続いている。(図表5-6-10)

図表5-6-10 介護をされていて良かったこと（全体：複数回答）



## 7 自由回答（問29）

介護者の方が感じている介護の問題について、意見・要望を自由記述形式でたずねたところ、全体で43件の回答があった。以下、主なものを掲載する。

### 施設設置希望：8件

- ・ 府中市内に老人介護施設や特別養護老人ホームを増やしてほしい。（老人保健施設、女性、70～74歳、要介護4）【配偶者】
- ・ ひとりで住んでいる老人がある程度の年がきたら、皆が特別養護施設に入れるようなことができればよいと思う。（老人保健施設、男性、90～94歳、要介護3）【娘・息子】
- ・ 入所できたことに大変感謝しております。本人も家族も入所前の精神的、肉体的苦勞を考えると安心して過ごしております。入所待ちの方々のためにも特養や保険施設が増えることを希望します。（特別養護老人ホーム、女性、95歳以上、要介護4）
- ・ ひとりで介護している時は、睡眠時間は3時間の生活が5年くらい続き、限界が近いときに、医師、相談していたケアマネジャーなどの職員の方々と親戚に助けられたので今があります。是非、介護関係の施設を増加して、ひとりで介護する者の負担を減らしてください。（特別養護老人ホーム、男性、75～79歳、要介護5）【娘・息子】

### 施設サービスに対する要望：13件

- ・ 胃ろうをしても市内の施設に入所できるようにしてほしいです。（介護療養型医療施設、女性、90～94歳、要介護5）【娘・息子】
- ・ 介護を受ける本人がホーム内で、夜、洋服で眠りたいです。人手が足りないのはわかります。でもいいわけにはなりません。（特別養護老人ホーム、女性、75～79歳、要介護5）【娘・息子】
- ・ 介護施設の職員の数が足りない。（食事、トイレなどの介助に手がまわらない）。相部屋であるため、プライバシーや生活環境の自由度が非常に低い。（老人保健施設、女性、75～79歳、要介護5）【娘・息子】
- ・ 施設入所していても面会に行けなくても、いつでも状況が把握できるようなサービスがあると、家族も安心して日常生活を送れます。（老人保健施設、女性、90～94歳、要介護3）【娘・息子】
- ・ 施設職員と家族のコミュニケーションが悪いと思う。どの施設においても感じられる。（介護療養型医療施設、男性、70～74歳、要介護5）【配偶者】
- ・ 介護士さんの異動、変更が見られます。みなさんが定着されますよう、働く環境の整備、報酬など、市からの支援をお願いします。（特別養護老人ホーム、女性、75～79歳、要介護4）【娘・息子】

### 経済的負担：10件

- ・ 先日、経済的理由により「世帯分離」を行い、負担限度額認定を受けました。最後まで同じ

世帯で守ってあげたいと考えていましたが、現実はそのもいかず悲しい思いをしました。他人から見れば何故と思うでしょうが、血縁とはそういうものだと思います、非課税世帯のみでなく課税世帯についても負担軽減のための市独自の施策をご検討いただけたら幸いです。

(老人保健施設、女性、90～94歳、要介護3)【娘・息子】

- ・ 妻と夫の収入に合わせて年金がやっと140万程度のため、色々な経費を引くと最低10万円は持ち出しとなるため、生活を切りつめなければならない状況です。(介護療養型医療施設、男性、85～89歳、要介護5)【配偶者】
- ・ 病院内で使用する寝まきやリネン代が高く、家計の負担になっている。(介護療養型医療施設、男性、75～79歳、要介護5)【娘・息子】
- ・ 介護負担金が大きく、生活が大変になる。何とかならないのか。(介護療養型医療施設、女性、95歳以上、要介護5)【娘・息子の配偶者】
- ・ 都内に住んでいるとはいえ、仕事のあい間をぬって施設まで足を運ぶことが辛いと思うときもあります。自分の老後の経済的不安が強いので、できるだけ長く働き続けなければ、子どもはあてにせず老後を暮していかなければ、との思いがあります。安心して暮らせる老後社会を作っていくことは可能なのでしょうか？(特別養護老人ホーム、男性、80～84歳、要介護4)【娘・息子】

### 介護者への支援：5件

- ・ 現在、本人は特養にお世話になっており、私(本人の妹)は大変助かっております。本人は親族が私以外おりません。ただ、私も介護を受ける年齢です(77才)。今後、どのようにしていくべきか不安です。教えてください。(特別養護老人ホーム、女性、85～89歳、要介護2)【兄弟・姉妹】
- ・ 介護者に対して、精神的、肉体的なケアはないだろうか。(特別養護老人ホーム、男性、75～79歳、要介護5)【配偶者】
- ・ ひとり暮らしの方と同じように同居人がいても介護サービスを受けられるようなしくみをつくってもらいたい。同居人が必ずしも心身健全とは限らない。心身健全であってもひとりではサービスが受けられなければ一気に負担がのしかかり、つぶされてしまう。(特別養護老人ホーム、女性、80～84歳、要介護5)【娘・息子】
- ・ 介護を経験した人達の話聞く機会がほしい。たとえば今この状態だと、次はこういう行動をすとか教えていただけると、先に先に行動がわかるので介護しやすい。(特別養護老人ホーム、女性、85～89歳、要介護5)【娘・息子】

### その他：7件

- ・ 利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やしてほしい。(老人保健施設、女性、70～74歳、要介護4)【配偶者】
- ・ 特別養護老人ホームへの入所を希望したが、摂食障害のある母は、どこでも断られた。申し込みもできずに、どこへ行ったらいいのかと聞くと、自分でいろいろな施設に電話しろと、冷たくあしらわれた。なんのための要介護5なのか。(介護療養型医療施設、女性、85～89

歳、要介護5)【娘・息子】

- ・ 認知症とうつとが混在している状態です。聞きとり調査をしていただいても、対応はできるので、どこが悪いのかと勘ぐられている気がしますが、現状では、娘がいるときだけ暴言、暴力があったり、盗みぐせがあり、スーパーなどでポケットに入れて知らんぷりをしていたり、日常困ることは多々ありますが、現場を見せられないので、わかってはもらえません。  
(老人保健施設、女性、75～79歳、要介護2)【娘・息子】
- ・ 生活全般のこまかい介護(食事、見守り、買い物、そうじ、etc)の充実をはかってほしい。  
(老人保健施設、女性、80～84歳、要介護4)【娘・息子】
- ・ お世話してくださる職員さんの体力もさまざまです。寝たきりの人への対応は本当に大変です。機器で対応できることは費用もかさむと思いますが、考えていただければ幸いと存じます。  
(特別養護老人ホーム、男性、95歳以上、要介護5)【娘・息子】
- ・ 道路の段差が車イスに適していない場所がほとんどで、外出をためらう。  
(老人保健施設、女性、85～89歳、要介護5)【娘・息子】